

官報

號外

明治二十九年一月十七日

金曜日 內閣官報局

第九回 貴族院議事速記録第四號

明治二十九年一月十六日(水曜日)午前十時五十三分開議

議事日程 第四號 明治二十九年一月十六日

午前十時開議

第一 明治二十八年勅令第四百四十四號承諾ヲ求 會 議(前會ノ續(特別委員報告))

第二 司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四 外國語學校設立ニ關スル建議案(公爵近衛篤磨君外二名發議) 會 議

第五 國費ヲ以テ臺灣ニ神社ヲ建設スルノ建議案(根岸武香君發議) 會 議

○副議長(侯爵黑田長成君) 本日ハ蜂須賀議長所勞ニ依リマシテ本員代理ヲ致シマス、去ヌル十三日政府提出司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案ヲ受領致シマシテゴザンス、次ニ同日公爵近衛篤磨君加藤弘之君山脇玄君ヨリ四十名ノ贊成ヲ以テ外國語學校設立ニ關スル建議案ヲ發議セラレマシタ、根岸武香君ヨリ四十四名ノ贊成ヲ以テ國費ヲ以テ臺灣ニ神社ヲ建設スルノ建議案ヲ發議セラレマシタ、次ニ昨十五日政府ヨリ明治二十七年四月一日ヨリ同二十八年三月三十一日ニ至ル各省所管官有財產増減異動報告書ヲ受領致シマシタ、次ニ決算委員會ニ於キマシテ委員長ニ男爵榎村正直君副委員長ニ木下廣次君ガ當選ニ相成リマシタ、東京都制案外三件ノ特別委員會ニ於キマシテハ委員長ニ子爵谷干城君副委員長ニ子爵岡部長職君ガ當選ニ相成リマシタ、次ニ決算委員分科並ニ主査ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官長朗讀)

第一科 議入

主査男爵榎村 正直君 子爵久世 通章君 子爵板倉 勝達君

男爵榎 取 素彦君 永山 盛輝君 男爵菊池 武臣君

平山 成信君 野崎武吉郎君

第二科 外務省 內務省

主査 柴 原 和君 子爵佐竹 義理君 男爵渡 邊 清君

第三科 陸軍省 海軍省 渡 正 元君 千阪 高雅君 周布 公平君

主査 木下 廣次君 子爵松平 康民君 寺島 秋介君

清浦 奎 吾君 菊池 武夫君 富井 政章君

久保田 眞 吾君

第四科 文部省 農商務省

主査 村 田 保君 子爵青山 幸宜君 男爵西五辻文仲君

大澤 謙二君 澤 簡 德君 佐藤清右衛門君

○副議長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ本日ノ議事ニ移リマス、第一明治二十八年勅令第四百四十四號承諾ヲ求ムルノ件ノ會議ヲ開キマス、特別委員長報告

(伯爵島津忠亮君演壇ニ登ル)

○伯爵島津忠亮君 明治二十八年ノ勅令第四百四十四號ノ特別委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、去ル十一日ニ特別委員會ヲ開キマシタレバ全會一致ヲ以テ承諾ヲ與フルモノト決シマシタ、其理由ハ全體此案ニ於キマシテハ明治二十七年ノ勅令第三百二十五號ト同一ノモノデ一言一句モ異リマシタコトハゴザイマセヌ、既ニ第七議會ニ於キマシテ我貴族院ハ承諾スベキモノト決シマシタ十分調査ノ上無事ニ通過致シマシタノデゴザイマス、併ナガラ衆議院デ承諾ヲ與ヘマセヌノデ此勅令ト云フモノハ效力ヲ失ヒマシタノデ、併シ昨年ニ至リマシテ政府ハ必要ヲ感ジマシテ再ビ本案即チ第四百四十四號ヲ以テ勅令ヲ發シマシテ今日承諾ヲ求メラレタノデゴザイマス、附キマシテハ第七議會デ議シマシタノト全ク同様ノ次第デゴザイマス、本年ニ於キマシテモ異議ナク承諾ヲシテ然ルベキモノト委員會ニ於テハ認メマシタ、別段外ニ御報告申シマス、コトモゴザイマセヌ、若シ御質問ノコトモゴザイマスレバ本員デ分リマスコトハ御答致シマセウシ又悉シイコトハ政府委員ニ向ッテ御質問ヲ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 本案ニ對スル政府委員ハ出席ニナッテ居リマス、チヨット伺ヒマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 唯今ハマダ出席致サレテ居リマセヌ

○副議長(侯爵黑田長成君) 別ニ御發議ガゴザイマセネバ……

○子爵曾我祐準君 本員ハ本案ノ委員デアリマスガ委員會ニ於テ少シ不分リノ事ガゴザイマシタカラ政府委員ニ質問ヲ致シテ置キマシタ、ツレヲ承ハリ

タイ、尤モ其事ハ質問ガ分リマシタニ致シマシテモ本案ノ存亡ニ關係スル程ノ問題デアアリマセヌガ少シ分リ兼ネタコトヲ委員會デ質問ヲ致シテ置キマシタガ今ニ答ヲ得マセヌカラ委員會ノ返答ヲ承ハリタウゴザイマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 暫ク御待ヲ願ヒタウゴザイマス

○名村泰藏君 今ノ政府委員ガ少シ遅クナルナラ次ノ議案ヲ議セラル、ヤウ...

○副議長(侯爵黒田長成君) 唯今内務大臣ガ出席致サレマシテゴザイマス

○子爵曾我祐準君 本員ハ審査委員會ニ於キマシテ此文中ニ少シ不分リノ事ガアリマシタニ依ッテ政府委員松岡君ニ質問ヲ致シマシタ松岡君答ヘテ申スニハ直接ニ此事ヲ此處デ御答申上デラレヌ、取調ベタ上後トデ通知スルト云フコトデゴザイマス、然ルニ今日マデ其通知ガナクテ遂ニ本會ニ掛ルコトニナリマシタ、ソレハ他ノ義デハゴザイマセヌ至ッテ事柄ハ僅少ノコトデアリマス、本案ノ管轄地方廳ト云フノハ所謂地方廳ナルモノハ縣廳ノミヲ指スカ若クハ郡役所モ指スカト云フ本員ノ問ニ松岡君ハ答ヘルコトガ能ハヌニ依ッテ取調ベタ上後トデ通知スルト云フノデアアルガ今日マデ通知ヲ怠ッテ居ル、其事ヲ一應問ヒニ掛ッテ居ルコトデアアルカラ答辯ヲ得タク考ヘル、尤モ内務大臣ガ御答ヘ下サレバソレデ満足デゴザイマスガ松岡君ガ斯様ナコトヲ約束ヲ致シテ置イタコトデゴザイマス

○國務大臣(子爵野村靖君) 簡易デゴザイマスカラ是ヨリ申シマス總テ地方廳ト稱シマスルノハ縣廳及郡役所等ヲ指スガ一般ノ例デゴザイマス、サリナガラ此松岡次官ノ御尋ノコトニ附キマシテハ其成行ハ本官ハ未ダ承知ヲ致シマセナカッタコト故ニ必要トゴザイマスレバ松岡次官ヲ以テ答辯ヲ致サセマセウデゴザイマス、サリナガラ今豫算委員會ヘ出テ居リマスルニ依ッテ必要トゴザイマスレバ尙ホ豫算委員會ノ方ヘ使ヲ走セマシテコチラヘ呼出スヤウニ致シマス

(政府委員松岡康毅君出席ス)

○子爵曾我祐準君 本員ノ質問ハ百四十四號ニ對シテノ質問デアリマス、唯今松岡君ガ御出席ニナリマシタカラ幸ニ松岡君ニ申シマス、過日委員會ノ時分ニ管轄地方廳ノ解釋ニ附イテ御尋致シマシタ所ガ後トデ取調ベテ御通知下サルト云フノデアリマシタガ今日マデ御通知ヲ得マセヌ、ソレ故ニ此通知ヲ得度考ヘマシテ御尋ヲ致シマス

○政府委員(松岡康毅君) 是カラ御答致シマス、成程御通知ガ遅延致シマシテ不都合デゴザイマシタ、地方廳ト申シマスルノハ矢張府縣廳デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 唯今内務大臣ハ郡役所ヲモ指スト、タツタ三分許リ前

ニ言ハレマシタ、然ルニ松岡君ハ府縣廳ノミヲ指スト云フコトデアアルガ、ドツチデアアルカ御身分ノ順序デ云ヘバ内務大臣ノ方ヲ取ラナケレバナラヌ、併シ主任ノ方カラ云ヘバ松岡君ノ方デアアル、何卒其事ヲ一致シテ貫ヒタイ、餘リ冷淡ノヤウニ考ヘマスカラ些々タルコトデゴザイマスガ一應申述ベマス

○政府委員(松岡康毅君) 書イテゴザイマスルノハ府縣廳デゴザイマスガ扱ヒマスルノハ地方廳ト書イテゴザイマスケレドモ郡役所モ警察署モ業ヲバヤッテ居リマス、ソレデ例バ願書ヲ出シマスニモ多分警察署又ハ便利ニ依リマスレバ郡役所ニモ出シマス、サウシテ府縣廳ニ書面ダケヲ出シテソレカラ指令ダケハ警察署郡役所ヲ經テ參リマス、ソレ故ニ業ノ上デハ郡役所警察署等モ此中ニ含ンデ居ルケレドモ文字ノ上カラ申シマスレバ表面ハ固ヨリ府縣廳ト云フコトデゴザイマス

○子爵曾我祐準君 左スレバ始ニ戻リマシテ本員ガ委員會デ御尋ヲ致シタノハ勅令第四百四十四號ノ文章ニアル所ノ管轄地方廳ト云フノハ府縣廳ノミヲ指スノデアアルカ或ハ郡役所モ指スノデアアルカト云フ御尋デアリマシタ、ソレハドウ云フ御答辯ナリマスカ今ニ一向要領ヲ得マセヌ

○政府委員(松岡康毅君) 更メテ御答ヲ致シマス、地方廳トゴザイマスノハ府縣廳ヲ指シマスノデゴザイマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 別ニ御發議ガゴザイマセネバ本案ヲ承諾スベキモノデアアルヤ否ヤノ決ヲ採リマス、是ヨリ直ニ決ヲ採リマス、本案ヲ承諾スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 過半数デゴザイマス、本案承諾スベシト決シマス、次ニ司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案第一讀會ヲ開キマス、書記官ヲシテ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治二十九年一月十三日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文
司法大臣 芳川顯正
司法官試補ノ實地修習期間ハ今後五箇年間ハ一年六箇月マテニ減縮スルコトヲ得

(國務大臣芳川顯正君演壇ニ登ル)

○國務大臣(芳川顯正君) 諸君、此案ノ本院ノ議ニ上ホリマスルノハ此度ヲ合シテ前後三回デゴザリマス、第一次ハ明治二十六年ノ常期ノ會ニ提出致シマシタノデアリマス、當時提出致シマスルヤ本大臣ガ希望致シマシタル如ク直ニ諸君ノ協賛ヲ經マシテ衆議院ニ回リマシタノデアリマス、衆議院ニ於テモ此協賛ヲ經ルハ定テ且タノ間デアラウト豫期ヲ致シテ居リマシタノデアリマス、然ルニ此時不幸ニシテ衆議院ハ解散ト相成リマシテ遂ニ其通過ヲ見ルコトヲ得ズシテ終リマシタノハ甚ダ遺憾ニ存シマシタノデアリマス、ソレ故ニ其翌年ノ會議ニ於キマシテ再ビ此案ヲ當院ニ提出シテ諸君ノ協賛ヲ求メマシタ、當時本大臣思ヘラク諸君ノ協賛ヲ得ルハ猶ホ前會ニ於ケル如ク直ニ得ラル、コト、豫期致シテ居リマシタ、然ルニ豈圖シヤ多數諸君ノ反對ニ依ッテ否決ノ場合ト爲リマシタニ附イテハ甚ダ當惑ヲ極メマシタ、ソレ故ニ又其次ノ議會ノ開クルヲ待ッテ二度提出致シテ諸君ノ再考ヲ煩ハサウト存シテ居リマシタナレドモ熟シ此事情ヲ熟考致シマスレバ諸君ニ於カレテハ審議考究ノ末、否決ト相成リマシタルモノニ附イテハ本大臣モ亦熟慮深思ノ上本院ノ決議ヲ重シズルガタメニ百方苦慮ヲ致シテ遂ニ他ニ一條ノ活路ヲ求メテ辛クモ今日マデ參リマシタノデアリマス、然ルニ其一方ノ開ケマシタ活路ニ於テモ遂ニ當初ノ目的ヲ達スルコトガ出來マセヌデ三度當院ニ提出シテ諸君ノ熟慮ヲ仰ギマスルノ實際已ムヲ得ザルノ境遇ニ出デマシタノデアリマス、諸君、最近三箇年ノ統計ニ依レバ我司法官ノ每年死亡轉免其他ニ依リマシテ司法ノ籍ヲ脫スル者平均九十八名ト相成ッテ居リマス、此九十八名ノ每年生ズル所ノ空位ヲ補充スルニハ他日教育制度ノ大キニ發達致シテ世ニ法學者ノ多クナッタ曉ハ率ザ知ラズ、今日ノ狀況ニ於テハ主シテ此補充ノ員ハ司法官試補ノ中ヨリスルノ外致方ハナイト存ジマス、然ルニ大學ヲ卒業致ス人ニシテモ我司法部ニ向ッテ試補タランコトヲ志願スル者ハ至ッテ少イノデアリマス、此少イ原因ハ種々ゴザイマセウナレドモ他ノ官衙ニ奉仕スル試補ノ年限ヲ數ヘマスルト比較的ニ我司法部ニ試補ト爲ッテ實地修習スル年限ハ長イノデアリマス、畢竟志願スル人ノ少イト云フノモ是等ニ原因スルコト、考ヘマス、ソレ故ニ前申述べマシタ司法官ノ空位ヲ補充致シマスニハ當時裁判所構成法施行條例ノ行ハレタ其時ニ溯ッテ其期間ヲ減縮致シテ司法官試補タランコトヲ希望スル者ノ數ヲ多クスルヨリ外ニ仕方ガナイ譯デアリマス、是等ノ理由ニ附キマシタハ前二回ノ會議ニ於テ縷々陳述致シテ置キマシタカラ今更新シク喋々スルノ必要ハ無カラウト思ヒマス、定メテ其理由ノ詳細ハ諸君ノ御記憶ニ存シテ居ルコト、私ハ存ジマス、唯其後事情ノ變リマシタ一事ヲ申上ゲテ諸君ノ參考ニ供シマセウト存ジマスノハ辯護士法ノ發布ト相成リマシテ三年間辯護士ニ從事致シマシタ者ハ司法官ニ爲ルノ資格ガアルト云フコトガアリマス、

其方ニ向ッテ此補充ノ途ヲ今日マデ求メマシタノデアリマス、然ルニ全國僅カ有數ノ此辯護士ニ向ッテ每年生ズル所ノ澤山ノ補充員ヲ求ムルコトハ到底ムツカシイノデアリマス、是レ前ニ申述べマシタ通三度ビ此案ヲ提出シテ諸君ノ御考慮ヲ煩ス所以デアリマス、唯其困難ノ事情ヲ一二御話ヲ申シマスレバ昨年ニ於テハ司法官ノ試補ガ第二回ノ競爭試驗ヲ受ケテ及第シマシタ者ガ僅ニ十五人、其他四十有餘名ノ人間ヲ此辯護士ヨリ求メマシタ、本年ニ至リマシテハ七十八名程競爭試驗ニ掛ル者ガアリマスルガ此前半期ニ於テハ僅ニ三名ノ外無イノデアリマス、後半期ニ於テ多クノ人ガアルノデアリマスガ此司法官ニ生ズル缺員ハ前半期ノミニアラスシテ十二月中ニ續々出來テ行クノデアリマス、ソレ故ニ今生ズル所ノ缺員ヲ後半期ニ於テ卒業ノ人ヲ待ッテ補充スルト云フ譯ニハ參リマセヌ、到底矢張此辯護士ニ向ッテ補充ヲ求ムルト云フヨリ外ニ仕方ハナイ次第デアリマス、夫レ是レノ事情ヲ照合致シテ將來ノ見透シヲ立テマスレバ何レニ致シマシテモ三箇年ノ年期ヲ一年六箇月ニ致シテ其便法ヲ計ルヨリ外ニ方策ハナカラウト存ジマス、今ヤ司法制度ハ發達致シ大審院、控訴院、地方裁判所、區裁判所等ノ數ハ四百幾十ノ多キニ至リ而シテ是等ノ裁判所ニ奉仕スル者ノ數即チ判事檢察高等官待遇ヲ受ケマスル者ヲ合セマスルト殆ト千七百八人ニ至リマス、然ルニ若シ一旦不幸ニシテ此案ガ通過スルコトガゴザリマセナカッタナラバ右等裁判所所轄ノ下ニ在ル人民ハ今日マデ得マシタ所ノ自由便利ヲ失フコトニ立至ラナケレバナリマセヌ、如何トナレバ裁判官ノ數ガ少クナリマスカラ今日マデ擴張致シマシタル機關ヲ減縮スルノ外ニ致方ハナイノデアリマス、左ナケレバ一方ニ向ッテ司法官ト爲ルコトヲ志願スルモノニシテ苟ツメニモ形式的ノ資格サヘアレバドシク之ヲ採用スル外致方ハゴザリマセヌ、若シドシク苟ツメニモ形式的ノ資格ヲ備ヘテ居ル人ヲ用井マスレバ將來私ハ司法部ニ蒙ル所ノ利害ハ定メテ洪大ニシテ世ノ信用ヲ失スルコト少カラヌコト、思ヒマス、ソレ故ニ諸君ニ希望致シマスルノハ是マデ數回縷々陳述致シマシタル所ノ理由竝ニ目下ノ狀勢ニ於テ已ムヲ得ザル必要ニ差迫ッテ居ルコトヲ御洞察アッテ速ニ此案ニ向ッテ御協賛アランコトヲ切望致シマス

○子爵本莊壽臣君 現在試補ノ總數ハ何人程デアリマスカ、又其試補ノ中ニ檢事代理ヲシテ居ル試補ハ何人又司法官試補デ檢事代理ト爲ッテ即チ無給ニ爲ッテ居ルモノハ何人又昨年十二月マデニ既ニ一年半トナリマス試補ハ何人アリマスカ、今度一年半ト短縮スレバ期限ノ滿ツルモノハ何人アリマスカ、昨年十二月デモウ一年半ニナッテ居ルモノハ……

○國務大臣(芳川顯正君) 唯今御尋ネノコトデゴザイマスガ試補ノ數ハ總體ハ百五十八名アリマス、其中多クノ部分ハ皆檢事代理ヲシテ居リマス、シテ

年俸三百圓ヲ給シテ居リマス……其他無給ノモノハ僅々數名ニ過ギマセヌ、試補ト申スモノハ實際檢事代理ヲ致シテ役儀ヲ務メテ居ルノデアリマス

○子爵本莊壽巨君 無給ハ何人ト云フコトハ御分リニナリマセヌカ

○國務大臣(芳川顯正君) 五人ヲ越ヘナイト私ハ記憶致シテ居リマスガ幾名ト云フコトハチヨット申上ゲ兼マス御必要ナレバ直ニ調べマシテ……

〔子爵本莊壽巨君「ツレガ御分リニナリマスレバ」ト述フ〕

五名ニ過ギナイト私ハ考ヘテ居リマス、總數百五十八名ノ中……

○子爵本莊壽巨君 今一ツノ質問ハドウデス、御分リニナリマセヌカ

○國務大臣(芳川顯正君) 何デゴザリマスカ

○子爵本莊壽巨君 昨年十二月マデニ一年半トナル試補ハ何人アルカト云フコトデゴザリマス

○國務大臣(芳川顯正君) ツレハ茲ニ調べテゴザリマセヌカラ即答ハ出來マセヌガ唯試補ノ年限ヲ三箇年ト是マデ極メマシテ追々此三箇年ノ年期ガ満チマスル數ハ調べテアリマス、之ヲ申上ゲマスレバ大體御分リニナリマセウ、昨年マデノ調ハゴザリマセヌガ二十九年カラ以後ハ調べテアリマス申上ゲテ宜シケレバ茲デ申上ゲマセウカ

〔子爵本莊壽巨君「ドウゾ」ト述フ〕

申シマセウ、本年二月二十七日ニ一人、三月二十一日ニ一人、六月二十七日ニ一人、七月十一日ニ三十三人、同ク十七日ニ三人、同ク十九日ニ五人、同ク二十五日ニ三人、同ク二十六日ニ一人、十月二十三日ニ五人、同ク二十六日ニ二十二二人、十一月一日ニ一人、十二月二十六日ニ一人、ツレカラ明治三十年二月二十一日ニ一人、四月一日ニ一人、七月三十日ニ九人、八月七日ニ一人、九月九日ニ四人、十二月二十一日ニ二十六人、同二十六日ニ二人、同三十一年一月二十一日ニ一人、六月二十五日ニ一人、七月三十一日ニ十五人、八月二日ニ二人、八月二十六日ニ一人、九月十七日ニ一人是ダケヲ調べテ置キマシタ

○子爵本莊壽巨君 分リマシタ

○久保田讓君 私モ質問ガゴザリマス、司法官試補ノ人員ノ不足ナルコトハ唯今司法大臣ノ御演說ニ依リマシテ明瞭ニ分リマシテゴザリマスガ尙ホ實際ニ於キマシテ左様ナ次第デアルト云フコトハ承ツテ居ルノデアリマス、是非此不足ヲ補給スルコトハ誠ニ必要ト考ヘマス、併ナガラ斯ク此不足ヲ致ス原因ヲ明ニシテ其原因ニ溯ツテ方法ヲ研究致シマセヌトキハ或ハ其結果ヲ得ヌト云フヤウナコトガアルマイカト云フ疑ガ多少ゴザリマス、ツレ故ニ御尋致シマスガ、唯今司法大臣ノ御演說ニ依レバ此原因ト云フモノハ全ク試補ノ年限ガ永イト云フコトノ一ツガ原因シテ居ルト云フコトデ其事ヲ縷々御陳述

ニナリマシテゴザリマス、或ハ是モ其原因ノ一ツデアラウト存ジマスルガ私ハ尙ホ其外ニモウ少シ強イ原因ニ爲ツテ居ルコトガアリハシナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、先刻司法大臣ノ御述ベニナツタヤウニ一ノ學校ノ卒業生ヲ以テ申シマシテモ行政官ニ參ル所ノ人ハ見習試補ヲ致ス期限ハ短クシテサウシテ早く本官ニ爲ラレル、然ルニ司法官ニ往ツタ人ハ三年間試補ヲヤラナケレバ本官ニ爲ラレナイノデアリマス、ツレ故ニ司法官ヲ望ム人ハ少イ一ノ原因デゴザリマス、併ナガラ實ハツレヨリ大キイ原因ハ俸給ノコトデゴザリマス、本員等ノ考デハ或ハ俸給ノ方ガ餘程大キイ原因ト思ヒマス、例ヘバ内務省ノ行政官試補ト爲ルモノハ都合ガ宜イト直グト地方ノ參事官ト爲ル、參事官ニ爲レバ直グニ八百圓ノ俸給ヲ受ケラレル、或ハ文部省農商務省等ノ屬官ト爲ル者モアルガ屬官ト爲ツテモ少クモ五百圓六百圓ノ俸給ヲ今日現在受ケテ居ル、然ルニ司法省裁判官ノ試補ト爲ル者ハ確カニハ心得マセヌガ三箇年カ一年半無給デ居ラナケレバナラヌト思ヒマス、加之檢事代理トカ何トカ云フ名ヲ設ケテ色々方便ヲナサツテモ三百圓ノ年俸ノ外ハ遣ラレナイ、ツコデ此試補ハ今日ノ有様ハドウカト云フニ富シダ者ヨリ貧窮ノ者ノ方ガ多ク學問シテ……

○副議長(侯爵黑田長成君) チヨット久保田君ニ申シマスガ御質問デゴザリマスレバ成ルベク御質問ダケヲ御述ベニナルヤウニ……

○久保田讓君 質問ノ理由デゴザリマス、質問ノ理由ヲ悉ク述ベマセヌケレバ本員ノ質問スル所ノ要旨ヲ徹シマセヌカラ……ツレデ先ヅ左様ノ次第デゴザリマスカラ或ハ其期限ヲ短クスルヨリモ報酬ヲ得ル點ガ不満足ト思フコトガ餘程大キイ原因ニ爲ツテ居リハシナイカト思フ、サウ致シマス折角期限ヲ短クシテモ或ハ御望通りノ結果ヲ得ルコトガ出來ヌヤウナ次第ニナリハセヌカト考ヘマスニ依ツテ其邊ハ司法大臣ノ御意見ハ如何ナコトデアリマスカ一應伺ヒタイ

○國務大臣(芳川顯正君) 御尤デアリマス丁度御質問ノ通本大臣ニ於テモ折角評議ヲ致シテ居リマス、他所ヘ行ケバ三四百圓モ給料ガ取レマスルニ長シ檢事代理ト爲ツテモ僅ニ三百圓ナラデハ取レズシテ利益ガ少イ、是モ試補ト爲ル人ノ少イ原因ト考ヘテ居リマス、是等ニ向ツテモ幾ラカノ改正ヲ加ヘニヤナラヌト折角評議ヲ致シテ居ルノデアリマス、其改正ニシテ出來、此短縮ニシテ出來マシタナラバ相俟ツテ試補ト爲ル人ヲ多ク得ラル、ニ足ルデアラウト考ヘテ居リマス

○子爵小笠原壽長君 本員モ一應質問ヲ致シマス、本案ヲ見マスルト今後五箇年トアリマスガハ即チ本年カラ三十三年マデ五箇年デアリマススカ五箇年間ヲ一年六箇月ニ短縮致シマスレバ最早五箇年經チマシタ先キハ斷然斯ウ云

贊成者
子爵 長谷 信 篤
外三十九名

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿
外國語學校設立ニ關スル建議案

征清ノ大捷ハ頓ニ中外交通ノ繁忙ヲ促スニ至レリ今日以後外政上ニ工商業上ニ及學術上ニ於ケル中外ノ交通ハ日ニ益隆盛ナラサルヲ得ス而シテ是時ニ際シ先ツ要スル所ノモノハ外國語ニ熟達スルノ士ナリトス然ルニ今日外國語學ノ教授ヲ以テ事務トスル所ノ學校ハ官私共ニ殆ト之ヲ見ル能ハス豈遺憾トセサルヘケムヤ故ニ政府ハ速ニ外國語學校ヲ創設シ英佛獨露ヲ始メ伊太利西班牙支那朝鮮等ノ語學生ヲ育成セムコトヲ要ス依テ政府ハ適當ナル計畫ヲ定メ之ニ要スル經費ヲ明治二十九年年度追加豫算トシテ本期ノ議會ニ提出セラレムコトヲ望ム茲ニ之ヲ建議ス

(加藤弘之君演壇ニ登ル)

○加藤弘之君 諸君、唯今外國語學校設立ニ關スル建議案ノ朗讀ガアリマシタ通デ此理由書ニモ亦少シク書イテ置キマシタカラ澤山私ガ辯ズル程ノコトハアリマセヌガ併シ少シク説明ヲ致シマスル積デゴザイマスカラ、ドウカ暫ク御聽ヲ願ヒマス、外國語學ノ必要ト云フコトハ今マデ年々ニ増シテ參リマシタコトハ申スマデモナイコトデアリマスルガ併シ此度ノ征清ノ大捷以後ハ益々此中外交通ト云フモノハ繁忙ニナツテ來ル有様ニ至リマシタカラ總テノコトニ附イテ此中外ノ交通ノ繁忙ナルニ從ツテ第一ニ必要ナモノハ即チ外國ノ語學ニ通ズルト云フコトガナケレバ何ノ仕事モ出來マセス、中外ノ交通ニ附イテノ仕事ハ外國語ヲ能クスル人ガ無ケレバ仕樣ガナイ、是ハマア申スマデモナイ位ノ明ナコトデアリマス、然ル所ガ以前ハ外國ノ語學ヲ教フル官立學校即チ外國語學校ト云フモノガ有ツタノデソレハ明治六年カラ外國語學校ト云フモノガ出來マシテ丁度十八年マデアリマシタノデ、十八年ニ至ツテ其時分ニ必要ガナイト云フ考デアツタト見エテ外國語學校ト云フモノヲ廢シテ仕舞ツタ、其後ハ私立デ小サイ外國語學校ト云フモノガ出來マシタデアリマスルケレドモ、固ヨリ私立デアラカラ速モツレガ發達スルコトモ出來ズ、多クノ語學生ヲ養フト云フコトモ出來ズシテ遂ニ今日マデ至ツテ、先ヅ外國語學ヲ專門トシテ教ヘルト云フ學校ハ其後ハ殆ド無イト云フ有様ニナツテ居リマスル、ソレデ此外國語ノ事ニ附キマシテハ以前ヨリハ段々ニ劣ツテ仕舞ツテ語ニ熟達シタ人ガ段々減ツテ仕舞ツタヤウナ有様デアアル、其外ノ外國語學ト言ハヌ所ノ即チ大學ヲ始メ中學其外商業學校、師範學校總テソナナ學校ニ外國語學ハ必ズ學科ニハ有ルコトハアル、アリマスケレドモツレハ決シテ外

フ變則法ヲ用井マセストモ差支ナイ即チ此儘、三年ノ實地修習デ御差支ナイト云フ御見込ガ斷然立ツテ居リマス譯デアリマス、其所ヲ一應承リタイ
○國務大臣 芳川顯正君 大概此案ノ當院ヘ出マスル毎ニ其御質問モアツタヤウニ考ヘテ居リマス、五箇年經タラバ必ズ先キニハ分毫ノ差支ナイト云フ斷言ハ實ハ出來ヌノデアリマス、構成法施行條例ニ於テ矢張施行後幾ラカ年限ヲ切リマシタノモ多分是ダケノ年所ヲ經レバ司法官ヲ志望スル人モ澤山ニナルデアラウト云フ見込デアリマス、今此案ヲ提出致シマシタニ附キマシテモ唯今ノ所デハ行政官其他ニ於キマシテ法學卒業ノ人ヲ必要トスルコトが目下盛ンデアリマス、今五箇年ヲ經過致シタナラバ其等ノ必要モ自ラ減ズルコトガ出來マスレバ從ツテ我司法部ニ向テ希望スル人ガ澤山ニナルデアラウト云フ實ハ考デアリマス、五箇年經タラバ決シテ差支ナイト云フ判子ヲ捺イテ御答スルコトハ出來マセヌ、多分差支ナカラウト存ジマスノデアリマス、若シ其時ニシテ果シテ差支ガ生ジマスレバ再ビ案ヲ提出シテ諸君ニ御相談ヲ致スカモ存ジマセヌ

○子爵小笠原壽長君 分リマシタ

○副議長(侯爵黑田長成君) 外ニ御發議ガゴザリマセネバ本案ノ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○男爵中川與長君 本案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ハ成規ノ通九名トシテ其選舉ハ議長ニ御委託シタイト思ヒマス

○子爵小笠原壽長君 贊成

○副議長(侯爵黑田長成君) 本案ノ特別委員ノ數ハ九名トシテ其選定方ハ議長ニ一任スルト云フ中川男爵ノ動議ニ贊成ノ諸君ニ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半數デゴザイマス、次ニ外國語學校設立ニ關スル建議案、公爵近衛篤磨君外二名發議ノ會議ヲ開キマス、朗讀ヲ致サセマ

(有賀書記官朗讀)

外國語學校設立ニ關スル建議案
右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也
明治二十九年一月十三日

發議者

公爵 近衛 篤磨 啓
加藤 弘 之
山 脇 玄

國語學ヲ重モニ學バセルト云フ主意デハナイ、總テ其外ノ學科ヲ學ブタメノ補助ノ學科デアアル、補助ノ學科デアリマスルカラ多クノ時ヲ掛ケテ教ヘルト云フコトハ出來ナイ、デ外ノ學科ガ益々近年ニ至ッテドノ學校デモ多クナッテ來タ、ソレニ隨ッテ段々語學ヲ學ブ時間ト云フモノヲ減ラサレテ仕舞ッタ、サウ云フ有様デアリマスルカラ昔ハ隨分英語杯ニ通ジテ隨分熟シタ學生ガ餘計アリマシタ、其時分ハ外ノ學科ガ少クシテ外國語ヲ學ブ時間ガ多クカカラソレガ出來タ、其土ニ又外國人ヲ教師トシテ外國人ニ接スルコトガアッタカラ外國語ニ自ラ熟達スル機會ガ十分アリマシタケレドモ近年ニ至ッテ學問ガ我邦ニ進歩シタタメニ外國人ヲ僱フト云フコトハ諸學校トモ減ジテ仕舞ッタ、モウ日本人ノ先生ト云フモノガ大抵ノ學科ハ受持ツヤウニナリマシタ、決シテ外國人ヲ要セヌト云フコトニナッテ來タ、ソレデ外國語ヲ使フト云フコトガ大變減ッテ來タ、ソレカラ又今ノ學科ハ益々殖エテ外ノ學科ガ殖エテ來タ、サウ云フ譯カラ學問ハ進ンデ來タノデ、サウシテ又日本人ガ今日ハモウ以前ノ外國人ニ代ッテ總テノ學科ヲ教ヘラレルヤウナ有様ニナリマシタカラ、其學問上ノ進歩ト云フモノハ誠ニ喜ベキコトデアリマスルケレドモ、外國語ノ下手ニナッタコトハ夥シイ、ソレデドウカ其今ノヤウノ有様デアッタハ是カラ年々ニ此中外交通ノ繁忙ニナル世ノ中ニアッテ語ニ通ジタ人ガドウモ澤山ニナイト云フコトデアハ何モカモ仕事ヲスルコトガ出來ヌ、其上ニ此條約改正ノ實施ト云フモノガモウ段々日々ニ迫ッテ參リマスルシ、ソレカラ此下ノ關係約デ日清ノ貿易ノ區域ト云フモノガ大變ニ廣クナリマシタカラ支那トノ貿易ト云フモノガ大變ニ盛ニナルノガ當然ノ有様デアアル、ソレカラ又露西亞、朝鮮トノ關係ト云フモノモ年々盛ニナルノハ目ニ見エタコトデアラウト思フ、ソレカラ此西伯利亞鐵道ノ出來上ルト云フコトモマダ今日ニ迫ッタト云フコトニハイキマセヌガ、サウ云フ時ニナッテ來タラ此亞細亞ト歐羅巴ノ關係モ大變革ヲ生シテ來ルデアラウ、ソレカラ又臺灣ノ新領地ト云フモノガ出來テカラ西班牙ノひりつびん諸島トモ隣接ニナッテ來マシタ、ソレカラ又伊太利トノ交際ト云フモノモ學問上ニモ追々關係ガ厚クナッテ又生產上ニ於テモ關係ガ厚クナッテ來ルノハ目ニ見エタ有様デアリマス、マ其外一々舉ゲレバ澤山アリマスルガサウ云フ譯デ目前ニ此中外ノ交通ト云フモノガ繁忙ニナル有様ガ見エテ居ル、其所ニ於テ此外國語ヲ專門ニ教ヘル學校ト云フモノガ殆ド無イ、外國語ハドノ學校ニモアリマスルケレドモ先刻申ス通唯補助ニスルベカリノコトデアリマスルカラ誠ニ時間ガ少クテ速モ外國語ヲ本當ニ覺エルト云フ譯ニハイキマセヌ、近年伊太利協會ト云フ此私立協會デ伊太利學校ト云フモノヲ立テマシタ、ソレカラ東邦協會デ露西亞語學ヲ又教ヘマシタ、ケレドモ是モ私立デアアルカラ決シテ盛ニ生徒ヲ多ク募ッテ

教フルト云フコトハ出來ナイ有様ニ見エル、速モ斯ウ云フ所ニ盛ニ進ム所ノ需要ニ應ズルト云フコトハ資本ノ乏シイ所ノ私立學校ナドニ待ッテ居ルト云フコトハ無理ナコトデ速モ出來ヌコトデアラウト思フノデ、ソレデドウゾ是ハ官立學校トシテ速ニ此重モニ外國語ヲ學ブコトヲ主トスルノデ……外ノ學科ヲヤラヌコトハナイケレドモ外ノ學校デアルヤウニ唯補助ノタメニスルト云フ譯デナク外國ノ語學ヲ主ニシテヤルノ學校ヲ立テルノデ、サウ致シマスレバ語學ノタメニ時間ヲ多ク費スコトガ出來テサウシテ語學ニ熟達シタ所ノ學生ヲ多ク養成スルコトガ出來ル、其中先ヅ、英、佛、獨ト云フモノハ是ハ學問上ニ於テモ其外ニ於テモ最モ大切ナ語學デ、是ハ是マデモ十分ニ熟シテ居リマセヌデモガ一番開ケテ居ル、ソレバカリデハ速モ今日ハ行カヌ、即チ露西亞語モ必要デアラウ、伊太利語モ必要デアラウ、ソレカラ西班牙語モ必要デアラウ、ソレカラ支那語ハ最モ必要デアラウ、朝鮮語モ最モ必要デアラウ、先ヅ斯ウ云フ所ノ語學ノ種類ヲ一ツノ外國語學校ニ纏マシテ、サウシテ成ルタケ語學ニ時ヲ餘計費ヤサセテ人ヲ養成スルト云フコトヲ速ニ政府デ著手シテヤリマセヌト一年後ルレバ一年ノ損デアリマスカラ、ドウカ速ニ二十九年度ノ追加豫算ニ取調ヲシテ出サレルヤウニシテ成ルタケ早ク此設立ノアルヤウニ希望致スノデアリマス、ソレデ金ト云フモノモ、ドノ位掛リマスカ、本當ニ計畫ヲシタ上デナケレバ分リマセヌガ決シテ澤山ナ金ノ掛ルモノデアハナカラウト思フ、唯ザット考ヘタ所デアハ僅ニ五六萬圓モアレバ初ハ決シテ差支ナク出來ルデアラウ、多ク金ノ要ルノハ外國語學校デアアルカラ外國人ヲ雇フノデアアルガ外國人ト云フテモ大變ナ大學者ヲ雇フノデアハナイカラ、ソナニ外國人ノ雇賃ガ澤山掛ルコトデアハナイ、唯外國人ヲ澤山雇ハナケレバナラヌ、近頃デハ歐羅巴各國デモ東洋語學校ト云フモノヲ立テル、獨逸、奧地利、佛蘭西等デ東洋語學校ヲ立テ日本、支那其他波斯等ノ語學ヲ皆ヤッテ生徒ヲ養成シテ居ルノデアリマス、ソレト同ジコトデ、コチラデハ又西洋カラ隣國ノ語學ヲ總テ出來ベキタケ交際上ニ必要デアアルタケ其語學ニ熟達スル者ヲ拵ヘルト云フコトガ必要デ誠ニ急務デアラウト思フ、語學ト云フモノガ金ガ有ツタカラト云フテ直キニ出來ル譯ノモノデアリマセヌカラ一日モ早ク其計畫ニ政府デ著手セラレムコトヲ希望致シマス、政府モ必ズ十分ニ喜ンデ贊成スルコトデアラウト信ジマス、滿場ノ諸君モドウゾ十分ニ御贊成ヲ下スッテ速ニ此建議ノ成立チマスルヤウニ至リマスルコトヲ希望致シマス

○田中芳男君　チヨット加藤君ニ伺ヒマス、唯今ノ御説デ委細分リマシテゴザイマスガ、此建議案ハ固ヨリ本員ハ贊成致シマスガ、唯今御說明ノ中ニ明治十八年頃カ政府デ語學校ヲ廢シテ仕舞ッタト云フコトデアリマスガ、本員

ノ記應致シマス所デ……其頃ノコトハ能ク知りマセヌガ曾テ支那語學校ト云フモノガ立テラレマシテ中途デ廢サレマシテゴザイマスガ、其頃生徒ハ出來損ヒバカリ餘計ニ出來テ其他餘程方向ヲ誤リ困タ者モ聞テ居リマスガ今度政府ニ御建議ニナリマシテ速ニ語學校ガ立ツテモ又唯今申上ゲタ通政府ノ御都合デ直キニ廢メテ仕舞フト誠ニ少年輩ヲ誤ルコトニナリマスガ、其邊ノ御考ハ此御建議案デハ何トカ言葉デモ添ヘテ御出シニナルカ知りマセヌガ、豫算デモ出ストキニ永年續キマスヤウナコトニナリマスカ如何ナ運ビニナリマスカ、御考ノ所ヲ一應伺フテ置キタウゴザイマス

○加藤弘之君 唯今ノ御話ノ通ニ潰レタ跡ニ少シ殘タコトガアルヤウデ、併シアナタノ今ノ御主意ハ續カナケレバ役ニ立タヌト云ツテハドウモ仕方ガナイ話デ、ソレハコチカラ註文シテ十分續カセル學校ヲ立テサセタイ、半途ニ廢メルヤウナ學校デハイカヌト云フコトハ言ハズシテ分タコト、私ハ思フ、ソレハ以前潰シタカラ今度モ半途ニ潰シテハイカヌト云フコトヲ言フノハ私ハ惡イトハ言イマセヌガ、ソレハ當然ノコトデアラウト思フノデアリマスガ、サウ云ツテ置イテモ保證ヲ取ルコトモ出來マセヌカラソレハドウシテモ政府ガ十分ニ、半途ニ潰スカモ知ラヌト云フ精神ヲ以テヤツテハドウシテモイカヌト思ヒマス、併シサウ云フ風ニ豫言シテ置ク方宜イト云フナラ決シテ惡イコトデハナカラウト思ヒマス

○水下廣次君 提出者ニ質問シマス、此建議案ニハ私ハ御主意及説明書トモ御同意ヲ申スデアリマス、サリナガラ御説明中ニ一ト事承ツテ置キタイト思ヒマスノハ東洋學會ニ於テ露西亞語ノ學校ヲ設立シタガソレハ私立デアアルカラ生徒ガ少イト云フ御主意ノヤウデ……

(加藤弘之君「東邦協會ノ……」ト述フ)

ハ、東邦協會ノ……然ラバ此官立ノ學校ニナレバ生徒ガ多クナルト云フ御主意デアリマスガ、少シ考ヘルコトガゴザイマスカラ一應御尋ヲ致シマス

○加藤弘之君 ソレハ生徒ノ方カラ考ガ違フト云フノデアアリマセヌケレドモ東邦協會ノモ私ハ委シクハ知りマセヌガ唯私立デアツテハドウシテモ十分ノ資本ヲ掛ケテ學校ヲ起スト云フコトモ出來マセヌコトデアリマスカラ逆モ多クノ生徒ヲ養ヘマスマイ、サウシテ十分ノコトハ出來マスマイト云フ主意デ、官立ト私立ト生徒ノ這入ル這入ラヌノ心持ノ違フト云フコトデハナイ、其學校ノ方ノ力ニアルコトデカノ十分不十分ト生徒ヲ養成スルコトモ十分ニ出來ル出來ヌノ違ガアラウト云フ考デ、生徒ノ考ガ違フト云フノデアハナイ
○木下廣次君 然ラバ生徒ノ數ニハ拘ラヌ如何ニ少數ノ生徒デアツテモ其學校ハ必要ト云フ御考デアリマスガ
○加藤弘之君 私ハ餘計無イ生徒ヲ無闇ニ引張ツテ來ル譯ニハ行カヌガ如何

ニ少イト云ツテ案外ニ少カラウトハ思ヒマセヌガ、例ヘバ少イニシテモ今他ノ學校デ補助トシテヤルヤウナ不十分ナコトデハ行カヌカラ語學ニ熟達スル者ガ出來レバ今日ソレハ最モ多イコトハ固ヨリ望ムケレドモ少クテモ矢張今日ノ有様ヨリハ餘程宜イト思フ併シ多イコトヲ望ムノデアリマスシ、豫想ハ私ニハ十分ニ出來マセヌデスガネ、ドレ程出來ヤウト云フコトモ考ガ附カヌ、併シ今日ノ私立學校デハ假令政府ガ望デモ出來ヌコトガアルデアラウト思フガ官立ナラソレガ出來ルデアラウト思フ

○水下廣次君 分リマシタ、私ハ生徒ガ少クテモ必要ト思ヒマスカラ提出者ノ御意向ハドコニアルカト云フコトヲ御尋ネ申スデアリマス

○侯爵醍醐忠順君 此件ニ附キマシテハ極贊成ヲ致シマス
○副議長(侯爵黒田長成君) 別ニ御發議モゴザイマセネバ……

○久保田讓君 本員ハ此趣意ニ於テハ贊成ヲ致シマスルガ是ハ餘程調査ヲ篤トシナケレバナラヌコト、考ヘマスルニ依ツテ特別委員ニ付託サレルコトノ議ヲ提出致シマス、其趣意ハ第一ニ此建議案ニ據リマス二十九年度追加豫算トシテ直グ此議會ニ提出サレルト云フコトガ書イデアリマスルガ左スレバ此教育問題トシテモ是ガ實ニ急要デアツテ他ニ是ヨリ急要ナコトガナイ、是ガ第一ノ急要ナコトデアツテ何ンデモ外ノ事ニ拘ラズヤラネバナラヌト云フコトヲ言ツテ居ル、果シテ此事ガ一番急要デアツテ他ノ事ハ擱イテモ之ヲヤラネバナラヌト云フコトデアアルカ否ヤ則チ教育問題トシテ是ガ第一ノ急務デ他ニ急務ナコトガナイカドウカト云フコトヲ疑フ、ソレカラ第二ニ設立ノ方法デアアル唯今ノ御話モアリマスガ既ニ明治十八年ニ一旦政府ガ之ヲ廢シタノハ建ツデアアル學校デアリマスカラ偶然ニ之ヲ廢シタノデアハナイ、其當時ニ在ツテ露西亞語支那語或ハ朝鮮語ト云フモノモアリマシテ其等ノ卒業生ガ其語學バツカリヤツタノデアハ生活ノ途ガナイ、職業ヲ得ル途ガナイ、或ハ外務省ノ玄關番ニナツタリ本員杯ハ餘程困タコトガアリマシテ漸ク寫字生ニ世話ヲシテ寫字生ヲヤラシメ置イタ、サウ云フヤウナコトガアツテ一向職業ガナイ、サウ云フヤウナコトカラ誠ニ困ツテ居ル、或ハ其入費ガ足ラヌヤウニナツテ來タト云フヤウナコトデ、終ニ廢シテ仕舞ヒマシタモ遺リヤウニ依リマスト即チ方法ニ依リマスモ或ハ其學校ノ設立ニ困ルヤウナコトガ出來ル唯今水下君杯ハ生徒ガ少クテモヤルト云フ御話デアリマシテ是ハ國家ガ必要デアレバ生徒ガ無クテモヤラヌナリマセヌ、ナリマセヌガ其方法ニ依リテハ必ズレモ生徒ヲサウ少クセズシテ生徒ガ澤山此レヘ集ツテ來ルヤウナ方法モアラウト思ヒマス、或ハ方法ニ依ツテハ其通辯ダケヲ學ンダト云フノデアハ昨年ノ如キ事件デモアレバ實ニ人ガ少クテ非常ニ人ガ要リマスガ此國家無事ノ時ニ方ツテハ帝國はてるノがいぜニ爲ツタリ外務省ノ玄關番ニ爲ルト云フヤウナ

外仕方ガナイヤウナ場合モ起ル、此人ヲ拵ヘルニハ必ズ必要ナ有要ナ人ヲ拵ヘネバナヲヌト思ヒマスカラ第二ノ方法ニ於テ大ニ研究ヲシテ考ヘネバナヲヌコトモアリマス、本案ノ大體ニハ賛成ハ致シテ居リマスケレドモ此ノ如キコトハドウカ特別委員ニ付シマシテ精密ニ審査ヲシテ然ル後建議サレルコトニナリタイ、特別委員説ヲ提出致シマス

○男爵渡邊清君 本員ハ政府委員ガ見ヘテ居ルヤウデアリマスカラ此建議案ニ附イテ一ツ承ッテ置キタイ、實ハ此英佛獨語ハ相應ニ學ブ人モアルヤウデアリマスガ西班牙杯ト云フモノハ極少イ然ルニ追々承ル所ニ依レバ南米地方モ條約談判スルトカ云フコトデアリマシテ彼ノ地方ハ多クハ西班牙語デ、然レバ是ハ今入用ガナイト云フテ置クベキモノデハナイ、將來必ズ入用ガ多カラウト思ヒマス、皆必要ナコトデアラウト考ヘマスガ併シ政府委員ノ考モ一ツ承リタイト思フ、一應御辯明ヲ願ヒマス

○政府委員(牧野伸顯君) 簡單デアリマスカラ此處デ御答致シマス、唯今ノ御質疑ハチヨット要領ヲ得マセヌガ聽落シマシタガモウ一應……

○男爵渡邊清君 本案ニ對シテ同意不同意ノ意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(牧野伸顯君) 本案ニ附イテ大體ニ附イテ不同意ト申スコトハゴザイマセヌ、併シ此方法ニ就キマシテハ唯今久保田君ヨリモ御陳述モアツタ通餘程考究ヲ要スル廉ガ多イト存ジマス、經費トモ伴ヒマスルコトデアリマスカラ今之ヲ實行スルト云フコトニ附キマシテ答辯ハ出來兼マスルデアリマス

○名村泰藏君 私モ此建議案ノ賛成者ノ一人デアリマスガ唯今久保田君カラ方法等ニ附イテ深ク考究シナケレバナヲヌト云フノデ特別委員ニ附キマシテハ最モ同意デアリマス、此方法ノ如何ニ依ッテ之ヲ建デ、利益アルコト、利益ナイト云フコトニ至ルト云フ考ガ起リマセウト思ヒマス、特別委員ハ九名ニシテ議長ニ御委託致シタイト云フコトヲ發議致シマス

○子爵谷干城君 私モ矢張此賛成者ノ一人デアリマスガ特別委員ニ付託スル必要ハナイト思フ、如何トナレバ是ハ則チ建議案、字句デモ修正スルトカ云フコトナレバ特別委員デ修正シテモ宜イ又之ヲサウシタラ宜イ斯ウシタラ宜イト云フコトノ方法ヲ拵ヘテ見タ所ガ矢張是ハ建議デアルカラコッチガ極メル譯ニモイカナイ、スレバ是ハ必要デアルト云フ注意ヲ政府ニ促スノデアリマスカラ何モ特別委員ニ付託セヌナラヌ必要ハナイ、又我々ハ先年高等教育會議ノ必要ヲ感シテカラニ建議シタコトガアリマシタ其賛成ノ一人デアリマス、又今度モ高等教育會議ノ事ニ附イテ政府ヘ質問ヲ差出シテアル、詰リ是等ノ事ハ高等教育會議ナルモノガ出來タレバワコデ十分ニ研究シテカラ定メラレルコトガ我々ハ必要ナコト、考ヘル、ソレデ兎モ角モ是ハ先ヅ目下必要

ノ問題デアルカラ政府ヘ注意ヲ促スタメニ速ニ可決シテ送付セラレンコトヲ希望致シマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 久保田君カラシテ本案ヲ審査セシムルタメ特別委員ヲ設ケルト云フ動議ガ出テ居リマス、其特別委員ヲ設ケルト云フ點ニ附イテハ名村君ノ御賛成ガアツテ問題トナツテ居リマス、尤モ其後名村君ノ御説デハ特別委員ノ選ビ方ハ議長ニ任セテ九名ト致スト云フ御説ガ出テ居リマス、ソレニ附イテハマダ賛成者ガゴザイマセヌ、唯久保田君ノ特別委員ヲ置クト云フ御説ニ附イテ……

○久保田君 本員ハ賛成致シマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 然ラバ名村君ノ特別委員ノ數ヲ九名トシテ議長ニ選ビ方ヲ一任スルト云フ其説ニ附イテ決ヲ採リマス、此説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(侯爵黒田長成君) 少數ト認メマス、直ニ本建議案ニ附イテ決ヲ採リマス、本建議案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 過半數ト認メマス、時刻ニナリマシタニ依ッテ一應休憩致シマス

午後零時十二分休憩

午後一時三分開議

○副議長(侯爵黒田長成君) 本日午前本院ニ於キマシテ可決シタル政府提出明治二十八年勅令第四百四十四號承諾ヲ求ムルノ件ハ直ニ衆議院ニ送付致シマシタ、次ニ午前本院ニ於キマシテ可決シタル外國語學校設立ニ關スル建議書ハ直ニ政府ニ提出致シマシタ、次ニ本日子爵谷干城君加藤弘之君ヨリ三十一名ノ賛成ヲ以テ教育高等會議創設ニ關スル質問書ヲ提出セラレマシタニ依ッテ直ニ政府ニ轉送致シマシタ、今朝本席ヘ御委託ニナリマシタ特別委員ヲ選定致シマシタ即チ司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案ノ特別委員ノ氏名デゴザイマスガ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官長朗讀)

司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案特別委員

公爵徳川 家達君 侯爵久我 通久君 子爵松平 秉承君
子爵本莊 壽巨君 箕作 麟祥君 兒島 惟謙君
男爵菊池 武臣君 濱 尾 新君 山田 卓介君
○副議長(侯爵黒田長成君) 是ヨリ午前引續キノ會議ヲ開キマス、即チ議事

日程第五、國費ヲ以テ臺灣ニ神社ヲ建設スルノ建議案、根岸武香君發議ノ會
議ヲ開キマス、朗讀ヲ致サセマス

〔有賀書記官朗讀〕

國費ヲ以テ臺灣ニ神社ヲ建設スルノ建議案
右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治二十九年一月十三日

發議者

根岸 武香

贊成者

公爵 德川 家達

外四十三名

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

國費ヲ以テ臺灣ニ神社ヲ建設スルノ建議案

故近衛師團長能久親王至貴ノ身ヲ以テ至難ノ衝ニ當リ刻苦勵精國ヲ思ヒ身
ヲ忘レ討撫善ク機宜ヲ制シ速ニ兇賊ヲ征服シ我 皇室ノ威望ヲ増進シ我國
體ノ光華ヲ發輝シ我新版圖ノ領有ヲ鞏固ニシ我臣民ノ士氣ヲ興起セラル獨
リ惜ム偉業全ク成ルニ及ンテ瘴癘ノ侵ス所ト爲リ瘴毒トシテ薨逝セラル嗚
呼親王ノ如キハ所謂精誠天地ヲ動カシ忠義鬼神ヲ感シ鞠躬盡瘁斃レテ而シ
テ後已ム者ニシテ實ニ國家ノ柱石天下ノ模範ナリ今や海内ノ人士傾仰哀痛
ノ至リ願然トシテ親王ヲ臺灣神社官幣社ニ崇メ祀ランコトヲ希望ス因テ速
ニ神座ヲ該島ニ經營シ一周年期辰ヨリ大祭ヲ起行シ爾後天壤無窮ト共ニ報
賽シ奉リ新皇土萬々歲安寧鎮護マシマサハ上ハ以テ國家ノ幸福ヲ祐ケ下ハ
以テ社會ノ衆望ニ副ハン因テ茲ニ建議ス

〔根岸武香君演壇ニ登ル〕

○根岸武香君 諸君、本日故近衛師團長陸軍大將能久親王殿下ヲ國費ヲ以テ
臺灣ニ官幣大社ニ祀ランコトヲ建議致シマシタ理由ハ理由書ヲ以テ述ベ置キ
マシタカラ諸君モ御承知ノ通デゴザイマス、且ツ私ハ甚ダ納辯デゴザイマス
カラ悉シクハドウカ理由書ニ依ッテ御覽ヲ願ヒマスルガ親王殿下ニ於カセラ
レマシテハ允ニ文武ノ德ヲ兼ヌル聰明ノ御方デゴザイマスニ皇室ノ柱石
國家ノ棟樑ト稱スベキ御方ニゴザイマス、去ル年ニ命ヲ受ケラレマシテ獨逸
ニ留學遊バサレマシテ軍事ヲ御研究ナサレマシテ八年過ギテ御歸朝ナサレマ
シテ後ハ始終陸軍ニ御從事遊サレマシテ第四師團長ニ爲ラレマシタル時ニ此
日清ノ戰爭ガ起リマシタ、實ニ國體上軍職ヲ以テ薨ゼラレマシタルハ謹デ案ズ
ルニドウモ臣下ノ功ヲ爭フヤウナコトデナク戰ニ臨ミマシタル時ハ士卒ト艱

難ヲ共ニ凌イデ仇ヲ攘ッテ 皇室ヲ安ンズルト云フ御心掛ガモウ始終ゴザイ
マシテ一死固ヨリ悔ユルナシト云フ御奮發デ此大難局ニ當リマシタヤウナ一
身ヲ犧牲ト爲シテ偉業ヲ輔ケンツ御心掛デゴザイマス、所ガ近衛師團長
ニ御轉任ニナリマシテ明治二十八年三月師ヲ率テ東京ヲ發シテ大連灣ヨリ御
上陸ノ中ニ休戰ニナリマス……此清國ヨリ和ヲ講ジマシタルニ附イテ休戰ニ
ナリマシテ遂ニ臺灣モ我版圖ニ歸シマシタ、然ル所匪徒ガ中ニ煽動致シマシ
テ清國ノ命ヲ用ヒマセヌデ遂ニ此匪徒ヲ征伐セントシテ殿下ハ川村少將ノ第
一旅團ヲ率テ五月ノ末ニ臺灣ヘ御上陸遊バサレマシタ、併ナガラ此親王殿下
ニ於キマシテハ實ニ艱難ヲ御嘗メ遊バサレマシテ兵卒ト食ヲ同フシテ既ニ食
セザルコトガ三日アルト云フコトデ艱苦ヲナサレ殆ド臺灣上陸以來一百里ノ
道モ無キ所ヲ山河ヲ跋涉ナサレマシテ大小ノ戰ハ七十餘度ニナリマス、風
雨ニ暴露シ遼東沍寒ノ地ヨリ臺灣ノ炎熱湧クガ如キ地ヘ轉戰遊バサレ月ヲ閱
スコト八箇月實ニ辛伍ト艱苦ヲ同フナサイマシテ戰ニ御臨ミ遊バシタル後ニ
遂ニ一夕瘴毒ニ御觸レ遊バシマシテ苦ミ玉フコトハ甚ダシイコトデゴザイマ
シタガソレニモ拘ラス病中ニ御在リ遊バシテモ士卒ニ下知ヲ爲サルト云フ位
ニ御勤ヲ爲スツテ遂ニ臺南ニ近カントスル時ニ賊魁ノ彼ノ劉永福デゴザイマ
ス、此劉永福ガ逃亡ヲ致シテ仕舞ヒマシテ誠ニ親王ニハ切齒扼腕ナサイマシ
テドウモ劉永福ヲ逃シタルハ殘念デアル、併ナガラ平定ニ近イカラ我ハ死ス
トモ恨無シト云フ位御決心在ラセラレマシテ益々御病氣ハ御重リナサイマシ
テ遂ニ臺灣平定ノ時ニ至リマシテ起ツコトモ協ハヌヤウニ相成リマシテゴザ
イマスルカラ御歸リナサルトコトニナリマシタ、併ナガラ御病中臺灣ノ平定
ヲ御聽キナサルト云フト起ッテ 天皇ヲ拜シテ萬歲ト御唱ヘナスツタト云フコ
トデゴザイマス、ソコデ忽チ病モ重リマシテ御危篤ニ附イテ御歸朝ノ後神去
リマシテゴザイマスガ實ニ恐レ多イコトデゴザイマス、此ノ如ク國ノタメ王
室ノタメニ御苦心ヲナスツタ方ハドウカ臺灣ヘ御祀リ申シタイト考ヘマスル
故ニ臺灣ノ臺南ヘ本社ヲ立テマシテ臺北ヘ支社ヲ置カレマシテ御祀リヲ絶ヘ
ズ萬々歲ドウカ臺灣人民ノ親王ノ德ニ化スルヤウニ致シタイト云フ考デ建議
ヲ致シマシタ、殊ニ此臺灣ニ御祀リニナリマスルノハ國家ノ柱石トモ云フ
ベキ親王ヲ臺灣ヘ御祀リ申シタナラバ必ズ臺灣ノ人民モ服スルコトダラウト
考ヘラレマス、ソコデ官幣大社ニ御祀リ申スト云フ理由ハ即チ日本武尊……
日本武尊ハ實ニ親王ト同様ニ東夷ヲ御征伐ナスツテ御歸掛ケニ瘴毒ニ御中リ
ニナスツテ遂ニ御薨去ナサイマシタ故ニ其日本武尊ハ即チ近江ノ國栗太郡瀬
田ノ建部神社、越前ノ國敦賀ノ氣比神社トテ官幣大社ニ祀リ奉リ又皇族方ニ
於テ官幣社ニ祀ラレマシタノハ彦五瀨命ヲ紀伊國名草郡竈山神社ニ祀リ護良
親王ヲ鎌倉ニ祀リ宗良親王ハ井伊谷ニ祀リ懷良親王ハ八代ニ祀リマシタル如

タ皆御祀リニ相成テ居リマスカラドウカ此北白川宮殿下ヲ臺灣ヘ御祀リ申シテ永ク日本ノ國威ヲ擴メタイト考ヘマス故ニ月竝ノ御祭ハ毎月五日ニシテ是ハ薨去ヲ發表ノ日デゴザイマス、又春季ノ大祭ハ毎年四月一日ト定メマス、是ハ殿下ノ御誕生ノ日デアリマス、又秋季ノ大祭ハ十月二十八日ト定メマシテ是ハ殿下最終紀念スベキ大切ノ日デゴザイマス故ニ左様ナコトニ致シタイト考ヘマス、故ニ國費ヲ以テ殿下ヲ官幣大社ニ祀リ奉リタイコトヲ希望イマスノデゴザイマスカラドウカ滿場ノ諸君何卒御賛成アラントヲ希ヒマス

○重野安釋君 チョット御質問ヲ致シマス此建議案ハ無論賛成デアリマスガ唯其能久親王ノ御一體ノ御社ニナリマスルコトハ如何ナモノデゴザイマス、是マデ總テ官幣社國幣社大中小ノ全國ノ神社ハ皆其多クハ神代ノ方様ヲ合祭ニナッテ居リマス、例ヘバ發議者ノ根岸君ガ言ハレマシタ金鑽神社ト云フモノハ日本武尊ニ矢張天照皇太神ガ合祭ニナッテ居リマス、唯今御演說ニ御引キナスツタ氣比神社是モ日本武尊ノ何デハアリマスガ其前ノ方々ガ澤山合祭ニナッテ居ル、是ハマア延喜式ノ式内ノ神社ハ皆大抵サウナッテ居リマス、此臺灣ハ新領地ノコトデモアルシ先ヅ本員ノ考デハ天照皇太神宮ヲ御合祭ニナッテサウシテ其主トスル所ハ能久親王ト斯ウナルノガ國體上ニ於テ又神社ノ是マデノ舊例ニ於テ相當ト考ヘマス、既ニ臺灣ノ近イ所ノ沖繩邊ニ於テモ舊來ヨリ天照皇太神宮ヲ祭ッテアル唯御一體ノ何デハ……成程是マデ餘程ナ御盡力ガアッテ遂ニツレガタメニ御覽レ遊バシタトハ申スモノ、是非此我大日本國ノ基タル神代ノ神様即チ天照皇太神宮ガ第一ノ御方デアリマス、サウシテ御合祭ニナルノガ相當デアルト思ヒマスガ併シ此建議案ノ趣ニハ其事ハゴザイマセヌガ此建議案ガ政府ニ於テ採用ニナレバ其邊ノコトハ御舊例ノコトデアリマスカラサウ云フコトニナルデアラウト云フ御精神デノ案デアリマスカ否ヤ其所ヲ質問致シマス

○根岸武香君 一體今重野君ノ御仰セノ通氣比宮ハ成程主神ガゴザイマス、唯日本武尊ヲ祭リマシタノハ近江國ノ建部ノ神社ノミデゴザイマスガ此臺灣ニ神社ヲ祭リマスルコトヲ建議致シマシタノハ昨年ノ十一月デゴザイマシタカ殿下ノ御葬送ノ時ニ私御葬送ニ御會葬申上ゲテ始テ此事ヲ思附キマシタノデ其後內閣總理大臣ニ建議ヲ致シマシタト云フノハ外ノ神ヲ合セ祭ルト云フコトニ建議致シマシタ、大國主神、少彥名神、大國魂神是レハ北海道ノ札幌ニ神社ヲ祭リマスル趣意モ其開拓ノ事業ヲ御助ケナサル神デゴザイマスル故ニ此神ヲ合セ祭ルコトヲ建議致シマシタガ今日ハ其事ハモウ之ヲ國費ヲ以テ官幣大社ニ御祭リニナルトナラバ神ヲ御合セナサルノハ政府ノ思召ニ任セマスル積デ、今日ハ殿下ノミヲ御祭リナサルノミノコトデ建議致シマスルノデ、

趣意ハツレデゴザイマス

○重野安釋君 宜シウゴザイマス

○侯爵醍醐忠順君 此建議ハ發起人又賛成者ノ一個人ノ若シ建議ノコトナラ其志ハ嘉シマシテ決シテ惡イトハ存ジマセヌガ議ニ附シテ貴族院ヨリノ建議案トシテ成立チマスルコトハ本員ハドウモ賛成ヲ致シ難ナウゴザイマス、故ニ本員ハ反對ヲ唱ヘマスル

(子爵曾我祐準君演壇ニ登ル)

○子爵曾我祐準君 諸君、本案ニ附キマシテハ諸君ノ中ニ大シタ御反對モアラウトハ認メマセヌ、唯今醍醐侯爵ハ反對サレマシタガ其趣意等モ御述ベエナリマセヌニ依ッテ其基ク所ハ分リマセヌガ大シタ本案ニハ反對ノ諸君ハナカラウト存ジマス、然ルニモ拘ラズ本員ガ此賛成ノ意ヲ述ベマスノハ此案ヲ賛成スルノ餘リ一言茲ニ述ベマスノデアリマス、抑、故ノ師團長親王殿下ガ此國民ヲ提テ遼東ノ野ヨリ遠ク南ノ臺灣ニ御轉戰ニナッタ時分ハ臺灣ノ土地ト云フモノハ實ニ未ダ探偵モ測重モ届イテ居リマセヌ、當時ハ諸君御承知ノ通清國ノ文武官ノ臺灣ニ在ル者ガ彼ノ狡猾ナル且ツ慍悍ナル士民ヲ煽動シマシテ新ニ共和政治ト云フモノヲ起シマシテ獨立ト云フコトヲ唱ヘ、サウシテ盛ニ此王師ニ抗シタ時分デアリマス、元來敵前ノ上陸、敵ノ前ニ上陸スルト云フコトハ難事トシタモノデアリマス、即チ敵國ニ上陸スルト云フコトハ敵國上陸其物ガ兵事ニ於テ一難實ニ難シズベキモノデアリマス、加之地理ト云フモノハ極テ險惡デアル、サウシテ其港灣ト云フモノハ……上ガルベキ所ノ港ト云フモノハ多クハ不其デアル、且ツ其上風向キサヘモ當時ハ全ク我レニ反對ノ風ガ吹イテ居リマシタ、況ヤ非常ニ流行病ガ行レマシタ其流行病ノ夥シイコトハ近來ニ於テ傳聞致シマススレバ前後臺灣ニ我軍民ガ……軍人及人民ノ臺灣ニ行ッタ者ガ十一万幾ラ其內病ニ罹ッタ者ガ四万幾ラ殆ト五分ノ一ニ半バマデニハ及ビマセヌガ半バ近クマデニ病人ガアリマシタ、斯様ナ非常ナル困難ノ際デアリマシタ、之ヲ要スルニ天ノ時モ今申ス通不便デアル、地ノ利モ極テ不便デアッテ即チ天ノ時、地ノ利マデモ共ニ我軍ニハ一ノ利ハ無カッタノニ親王殿下ノ勇武ト德望トヲ以テ唯職定シタコト、本員ハ信ジマス、實ニ斯ノ如キ千辛万苦ニ打勝レマシテ且ツ慍悍無比ノ徒、決シテ支那ノ北方杯デ見ルコト能ハヌ所ノ強イ土匪ト云フ者ガ居ルノデアリマス、其上ニ最モ精練ノ聞ヘアル支那ノ劉永福ノ黑旗、是等ハ共ニ支那軍ニ於テハ一番強イ、即チ我官軍ニ抗シタ黑旗軍ハ勇武竝ビナキモノデアリマス、黑旗軍ニセヨ或ハ土匪ニセヨ是等ハ親王ノ威武ニ敵スルコト能ハズ遁走シテ遂ニ平定ニ歸シタト云フ譯デアリマス、然ルニ今ヤ全ク平定ニ歸セントスルニ際シテ何ゾ圖ラン殿下ハ戰中ニ於テ大患ニ罹ラセラレマシタ譯デアリマス、實ニ是戰ヲシ

テ未ダ全ク勝タズト云フ場合デアリマシテ實ニ遺憾千萬ト言ハナケレバナリ
マセヌ、實ニ此殿下ノ武功ト云フモノハもるうんノ山ヨリモ高ク其御德量ト
云フモノハ大洋ノ海ヨリモ廣イコトデアラウト思ヒマス、恐レ多イコトデハ
アリマスガ竊ニ推察シマスルニ殿下ノ此大敵ヲ殆ト鎮定ノ期マデ御攻メツケ
遊バシマシテ其折リ大患ニ罹ラセラレマシタ時ノ御心情ハ如何デアリマシタ
カ縱令其御形體ハ東京ニ御歸リニナツテ豐島岡ニ鎮マサセラレマシテモ其御
靈魂其御精神ト云フモノハ長ク……天長ク地久シク是ニ御留リ遊バセラレタ
ルコト、私ハ確ク信ジマス、其詳シイ理由ハ此理由書竝ニ發議者ノ根岸君カ
ラ盡サレマシタニ依ツテ本員ハ喋々致シマセヌ、本員ハ當時殿下ノ御精神ハ如
何デゴザイマシタカ、御形體ハ何レニ在シマシテモ其御精神ハ臺灣ニ遺ッテ
居ラル、コト、本員ハ確ク信ジマス、即チ此理由ヲ以テ臺灣ニ御祀リ申スハ
頗ル相當ノコト、思ッテ本員ハ篤ク此案ヲ贊成致シマシテ其贊成ノ理由ヲ一
言述ベ置クノデゴザイマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 別ニ御發議ガゴザリマセネバ本建議案ニ附イテ
決ヲ採リマス、本建議案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半數ト認メマス、依テ此建議案ハ可決セラレ
マシテゴザリマス、是ニテ本日ノ議事ハ終リマシタ、清國償金ノ一部ヲ市町
村立小學校ノ基本金ニ充ツルノ建議案特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ公爵
近衛篤磨君、副委員長ニ加藤弘之君當選ニ相成リマシテゴザリマス、本日ハ
是ニテ會議ヲ終リマス、次ノ議事日程ハ後ヨリ御報告致スコトニ取計ヒマス、
本日ハ散會

午後一時三十三分散會

